#### -Safety News-

# きらめき

#### 2023年 5月19日

発 行

東北情報インフラユニオン

仙台市若林区新寺-丁目2番7号 TEL:022-297-5196 FAX:022-297-5198 発行責任者:村上 良智 編集責任者:齊藤 慎也

休足時間

## 構物連合的な全角生活動」の取組みにかて書

日頃より、私たち東北情報インフラユニオンの活動にご理解とご協力を頂き、誠にありがとう ございます。厳しい環境の中で、日々現場第一線における安全の確保に向けご努力を頂いている ことに心から敬意を表します。

さて、情報労連は厚生労働省が実施する令和5年度「全国安全週間(2023年7月1~7日)」に先駆け、6月を情報労連「労働安全衛生強化月間」に設定し、安全に対する意識の醸成や安全労働の徹底を目的に取り組みを展開することとしております。

なお、取り組みの概要については下記の通りとなります。

#### 情報労連「労働安全衛生強化月間」の取り組み

#### 《取り組みの基本》

労働安全衛生は「組合員・社員の安全と命を守る労働組合活動の根幹」となる重要な 取り組みとの認識のもと、安全に対する意識の醸成や安全労働の徹底を図る

《取り組み期間》

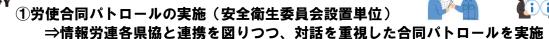
2023年6月1日(木) ~ 6月30日(金)

《取り組み内容》

- ①人身事故撲滅に向けた安全労働の徹底を目的に安全パトロールの実施
- ②安全意識の醸成を目的とした安全啓発グッズ(足すっきりシート休足時間)の配布

インフラ東北としては、東北管内においても昨年度、断続的に事故が発生した現状を重く受け止め、情報労連「労働安全衛生強化月間」に対して積極的な対応を図ることとします。

#### 【インフラ東北としての取り組み】



②職場等における啓発活動の実施(安全衛生推進会議/安全工法委員会/朝礼等) ⇒組合役員・分会長が参加し取り組み趣旨の説明を行いつつ、現場第一線で働く 作業従事者に対する注意喚起を実施

6月以降は梅雨入りとともに湿度・気温の上昇が予想され、熱中症の危険性が一段と高まる時期となります。こまめな休憩や水分補給を心掛け、体調が優れない場合は無理をしないように注意するとともに、「決めたことは守り、私たちの職場からは絶対に事故を発生させない」との意識を作業班全体で共有して頂き、日々皆さんの帰りを待っている家族のもとへ"笑顔"で帰りましょう!



(2) きらめき

### 通建連合「一斉安全休工日」への積極的な参加を!

通建連合「一斉安全休工日」は、現場第一線で働く一人ひとりの労働負担が一段と高まっている中で、組合員は勿論のこと現場第一線で働く労働者の心と体の健康管理は基より、リフレッシュを図り安全労働を確保する観点で、2008年11月より取り組んでおり、2023年についても昨年度と同様に6月・7月・9月・11月の第2土曜日を設定し取り組むこととしています。

今年度1回目の実施は6月の第2土曜日となり、昨年同月の実施結果は下表の通りです。

≪2022年6月実施結果≫

【集計単位】 業務区分割合(事業所単位) 人数割合(個人単位)

TTKグループ		休工対象数	当日実施	読替実施	未実施	実施結果(読替含む)
6 月	業務区分割合	118	95 (80.5%)	23 (19.5%)	0 (0%)	100%
	人数割合	2359	2259 (95.8%)	100 (4.2%)	0 (0%)	100%
大和グループ						
大和公	ブループ	休工対象数	当日実施	読替実施	未実施	実施結果(読替含む)
<b>大和</b> 2	ブループ 業務区分割合	休工対象数 56	当日実施 22(39.3%)	読替実施 34(60.7%)	未実施 0(0%)	実施結果 (読替含む) 100%

昨年6月は当日実施(第2土曜日)と読替実施(第2土曜日以外の当月内土曜日)を含めた実施率は100%という結果でありました。ただし、業務区分別に見ると読替実施の割合も依然として高く、第2土曜日での一斉休工ができなかった要因としては「業務繁忙」が半数以上を占めており、次いで「保守保全・設備運営」によるものが多くなっていました。

昨年度の結果を踏まえ、今年度についても第<u>2</u>土曜日当日での実施率向上に向けて、インフラ東北は通建連合の取り組み趣旨に則り、一人でも多くの仲間が参加できるよう取り組みを行いますので皆様の積極的な参加を要請致します。



